

# 早出幼稚園 令和1年度 学校評価結果

令和2年3月30日 早出幼稚園 学校関係者評価委員会

1. 1年度当初に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した重点項目
  - (1) 近年の異常気象にタイプする健康管理を考え対策をとるべき。
  - (2) 新幼稚園教育要領における「めざす10の姿」が小学校以降の教育にどうつながっていくのか保護者に話すとともに新しい学力観について理解を深めるべき。
  - (3) 虐待やいじめなどの社会的なニュースを把握し、専門知識により分析し理解を深めることが必要。
2. 取り組み
  - (1) 温度、湿度ともに高くなりがちな北園舎にエアコンを設置。改善をはかる。
  - (2) 「ことばでの伝えあい」をテーマに教育研究を行う。子どものことばの背景にある心の育ちに着目した。一方で、教師側の「こうあるべき」という評価傾向が強くなった。改めて共通理解が必要。  
保護者には、クラスだよりや園だよりを通じて、子ども理解が進んだ。
  - (3) 虐待やいじめなどの専門知識については、親も共に学ぶ事が必要。6月の父親参観会では、学童保育を通じて、虐待やいじめ問題に取り組んでいる講師に講座を依頼した。
3. 関係者評価委員会での意見
  - (1) 子どもの活動を優先することは理解できるが、歩きづらい面もあるので園庭の整備が必要。外の蛇口が硬く子どもも扱いづらいので改善すべき。
  - (2) クラスだよりが、ひんぱんに発行されて園の様子がよくわかるが、的を絞った「お知らせ」などはメール配信も使って先生の負担も軽減すべき。
  - (3) 保護者に寄り添った対応がされていると感じるが、寄り添いすぎている面もある保護者自らが園全体(他者)を考えられるようなルールや投げかけも必要。

## 4. 今後取り組むべき課題と対策

課 題	対 策
(1)園庭等の環境整備	園庭内の排水管にも課題があるので、あわせて改善する。水道の蛇口、北園舎の屋上防水シートの改善を行う。
(2)保護者への情報発信について、子どもの様子をわかりやすく伝えることと伝達のみの場合の発信し方を工夫する	連絡アプリを活用し、よりわかりやすい情報発信を心がける
(3)保護者自身が自分の事だけに終始するのではなく他者を考えられるような活動や情報発信が必要	ルールはわかりやすく伝えるとともに、園の活動に参加してもらう場面を増やし、より多くの子どもの触れることで利他的な考え方も身につけてもらう